



Sustainability



Health



Comfort

株式会社三菱ケミカルホールディングス 会社紹介

(証券コード：4188)

2016年9月開催

株式会社三菱ケミカルホールディングス
代表執行役社長 越智 仁

THE KAITEKI COMPANY

本日の内容

1 私たち、三菱ケミカルホールディングスは総合化学会社です

- 1-1 会社概要
- 1-2 事業領域と業績

2 三菱ケミカルホールディングスのこれから

- 2-1 中期経営計画
- 2-2 当社の強み —No.1製品の紹介—
- 2-3 KAITEKI社会に貢献する製品・サービス

3 当社の株式について



1. 私たち 三菱ケミカルホールディングスは 総合化学会社です

1-1 会社概要

1-2 事業領域と業績

1-1 会社概要

資本金

500億円

(2016年3月末時点)

連結売上高

3.8兆円

(2016年3月期実績)

業界内ポジション

国内1位、世界8位

(出所) Thomson Reuters (FORTUNE Global 500) による各社直近期 Data (2015年8月現在)

連結営業利益

2,800億円

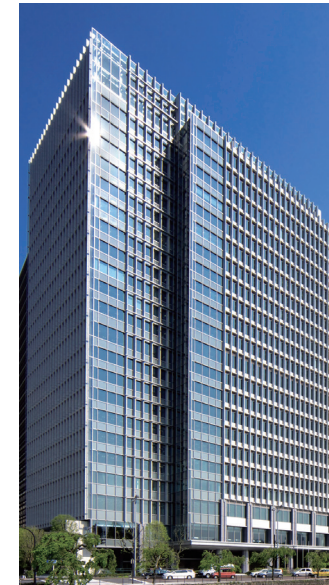
(2016年3月期実績)

関係会社数

約750社

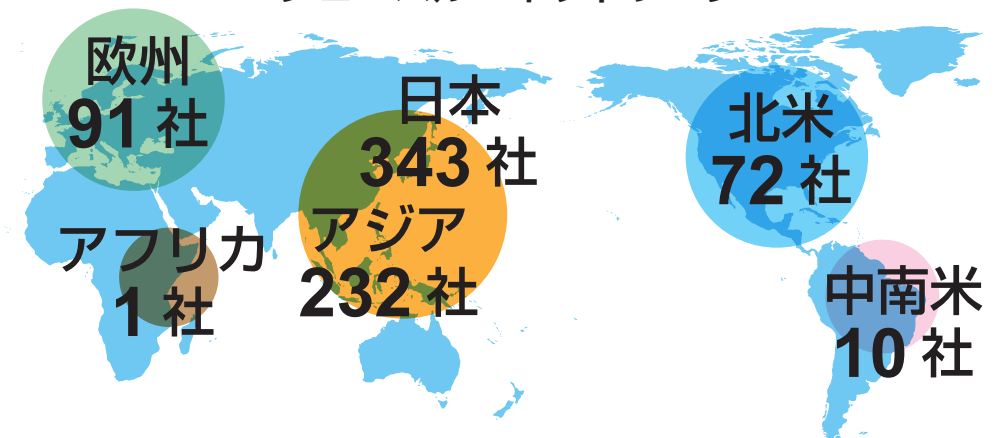
海外売上高比率：43%

(2016年3月期実績)



本社：
東京都千代田区丸の内 1-1-1
パレスビル

グローバル・ネットワーク



1-1 会社概要

株式会社三菱ケミカルホールディングス*

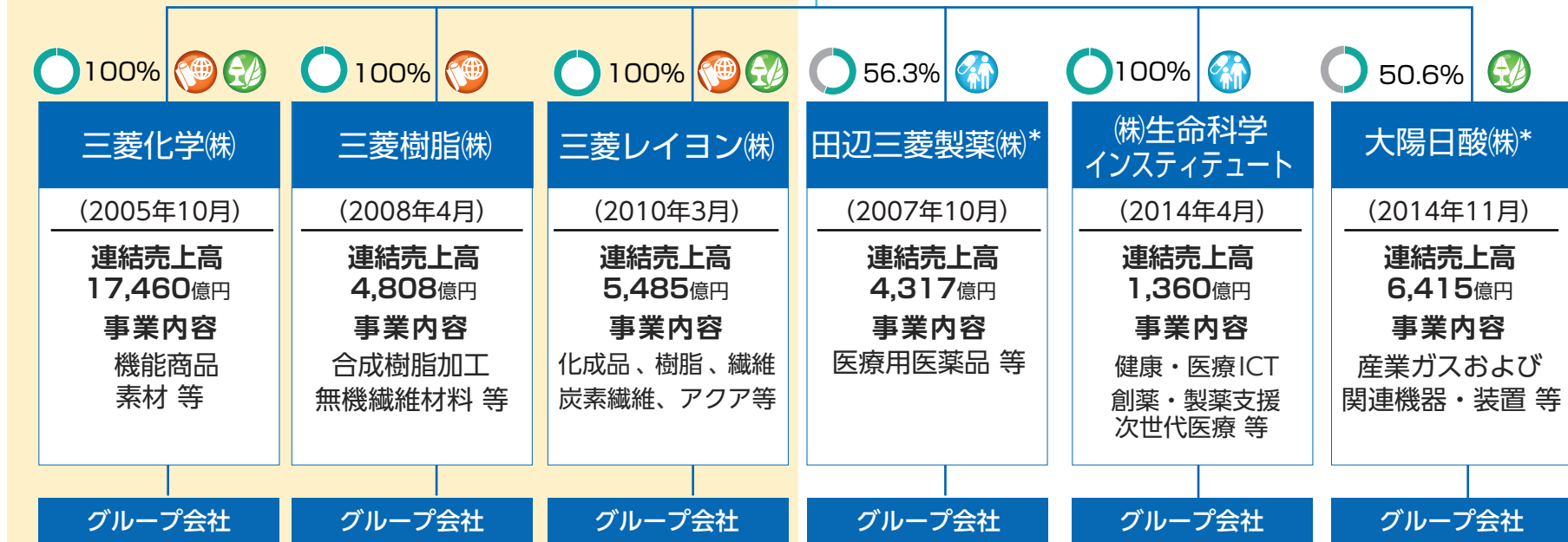
(2005年10月～)

*: 上場会社

事業領域: 機能商品 素材 ヘルスケア

連結従業員数: 68,988人 (2016年3月現在)

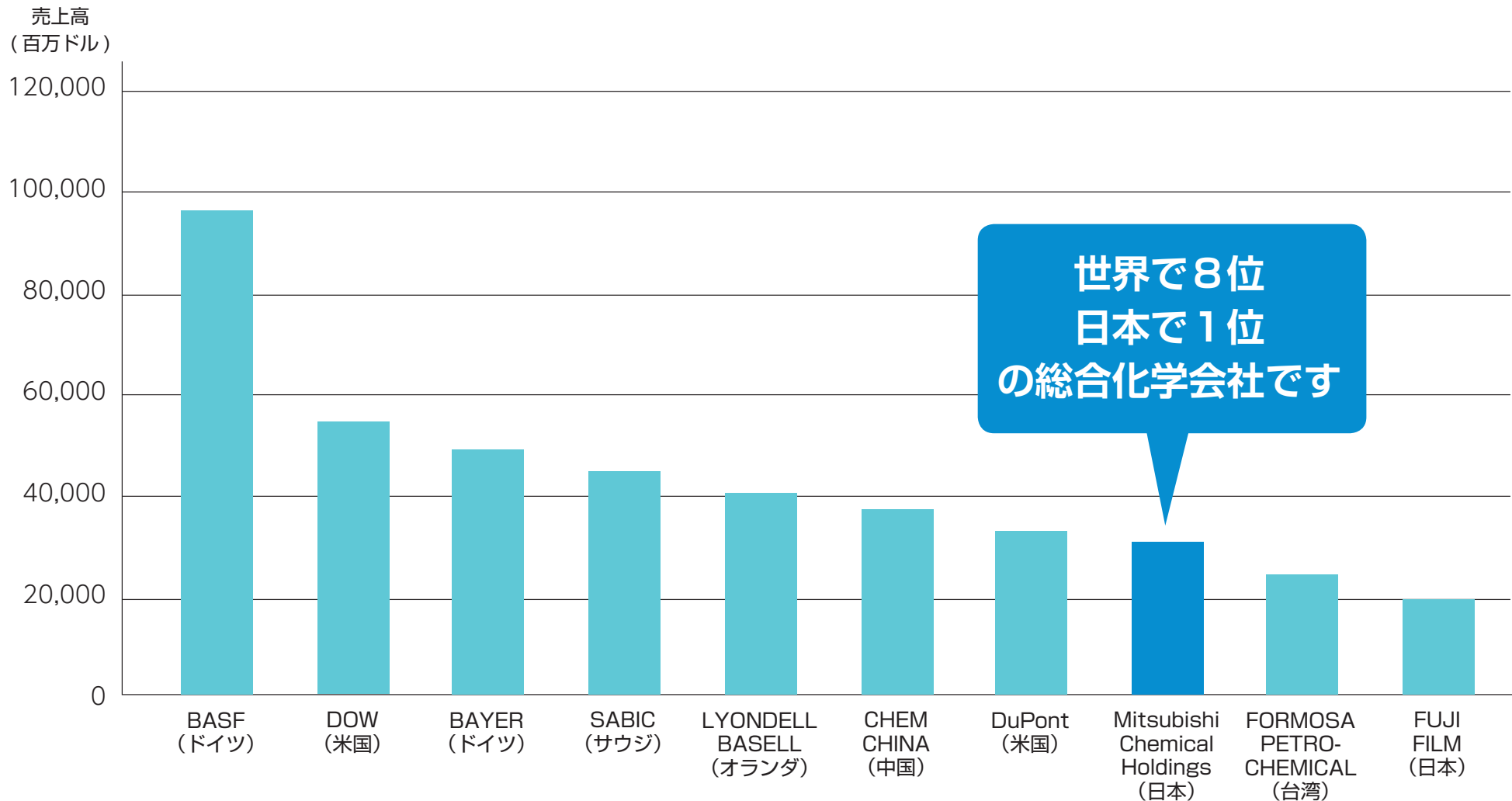
2017年4月 化学系3社を統合し、三菱ケミカル(株)に



1-1 会社概要

業界におけるポジション

売上高国内トップ、世界8位の総合化学会社です。



出典：Fortune Global 500 (<http://fortune.com/global500>) 2015年8月現在

THE KAITEKI COMPANY

私たちがめざすものは、“**時を越え、世代を超え、人と社会、そして地球の心地よさが続く状態**”であると考え、この状態を“**KAITEKI**”というオリジナルのコンセプトで表現しております。

Sustainability [Green] (環境・資源)

Health (健康)

Comfort (快適)

を企業活動の判断基準とし、機能商品、素材、ヘルスケアの3つの事業分野において、**KAITEKI**の実現をめざした企業活動を推進しています。

KAITEKIの実現に向けた「KAITEKI経営」とは、

- 業績に代表される経済価値向上の基軸
(MOE : Management of Economics)
- 技術経営深化の基軸
(MOT : Management of Technology)
- 人・社会・地球環境のサステナビリティ
(持続可能性、維持能力) 向上を目指す基軸
(MOS : Management of Sustainability)

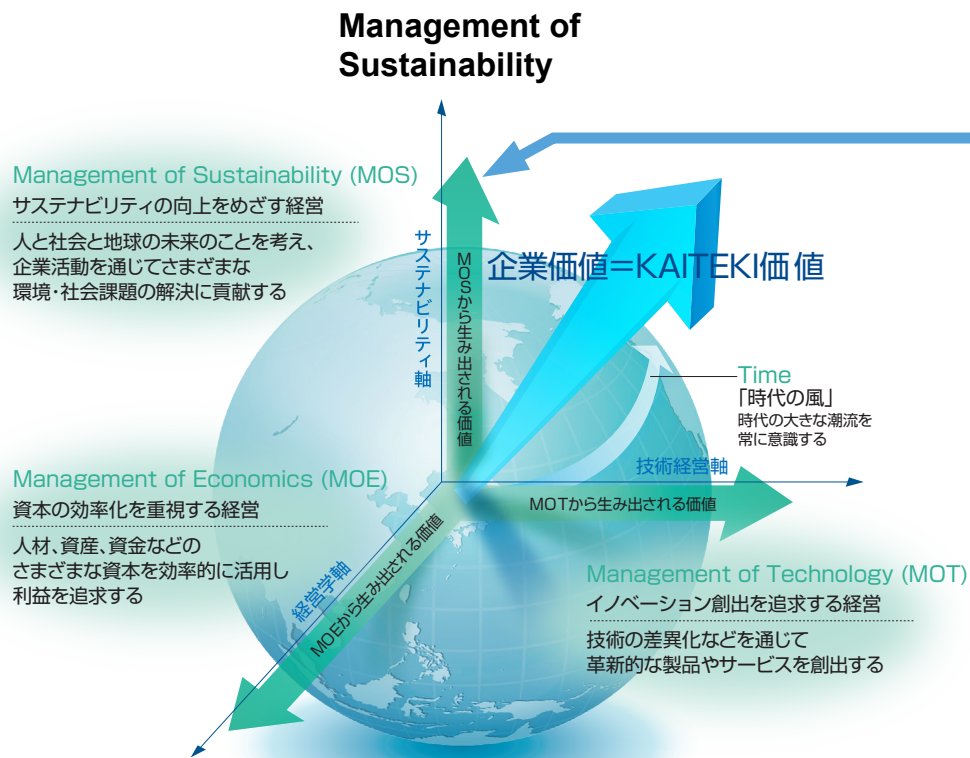
これら3つの基軸に時間の要素を加え、企業価値を高めようとする経営手法です。



1-1 会社概要

MOS 指標

2020 年度の達成目標を 300 点として各項目を評価



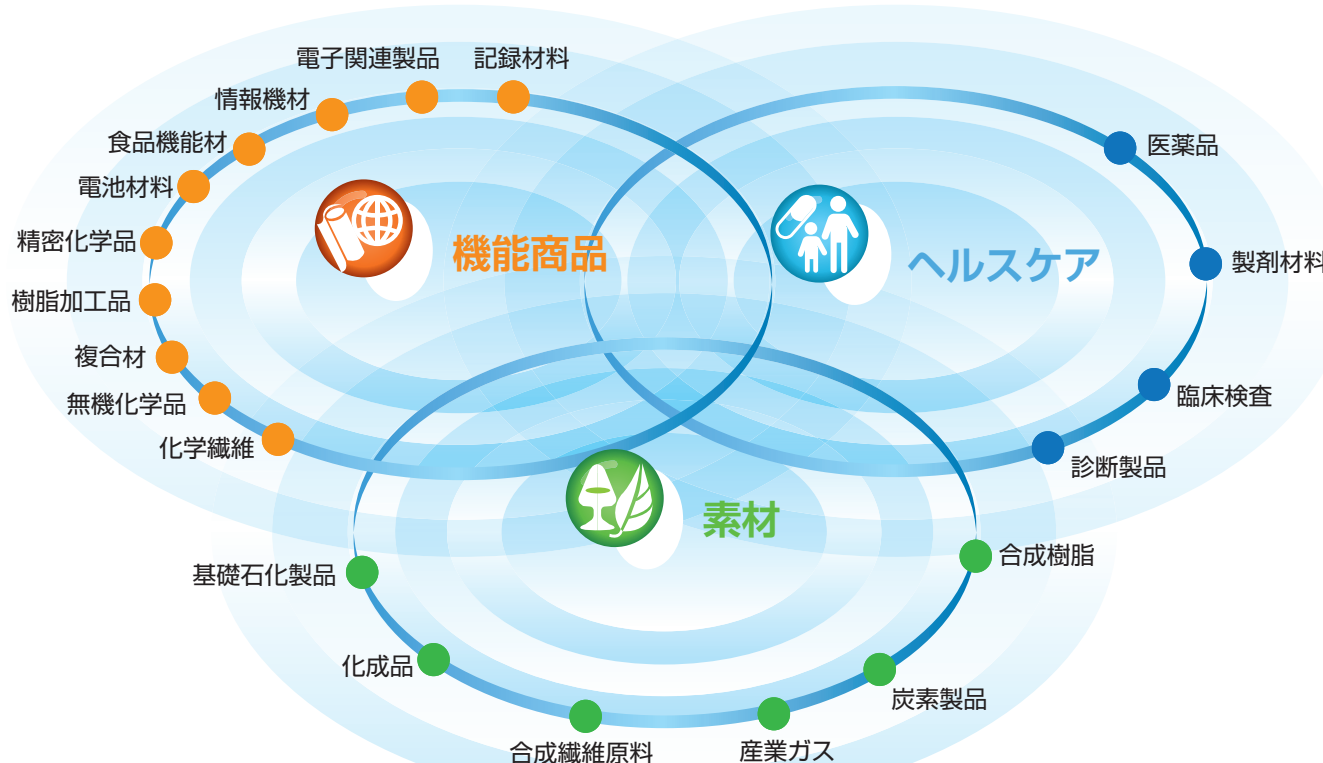
Sustainability	S-1	地球環境負荷削減への貢献	100点
	S-2	資源・エネルギーの効率的な利用	
	S-3	環境・資源の持続可能性に貢献する製品・サービスの提供	
Health	H-1	疾病治療への貢献	100点
	H-2	疾病予防・早期発見への貢献	
	H-3	健康で衛生的な生活の実現に貢献する製品・サービスの提供	
Comfort	C-1	社会からより信頼される企業への取り組み	100点
	C-2	ステークホルダーとのコミュニケーション・協奏の推進	
	C-3	より心地よい社会、より快適な生活づくりへの貢献	

MOS 基軸を可視化・定量化した MOS 指標を策定、進捗評価への経営指標とし KAITEKI 経営に取り組み、さらに、売上高・営業利益・ROA 等の基礎的経営指標に MOS 指標をあわせ、当社グループの企業価値を表現し、さらにグローバルスタンダードにできるよう働きかける。

1-2 事業領域と業績

3つの事業分野

石油化学から医薬品、LED 照明や浄水器の最終製品まで、幅広い事業群を 3 分野に集約



1-2 事業領域と業績

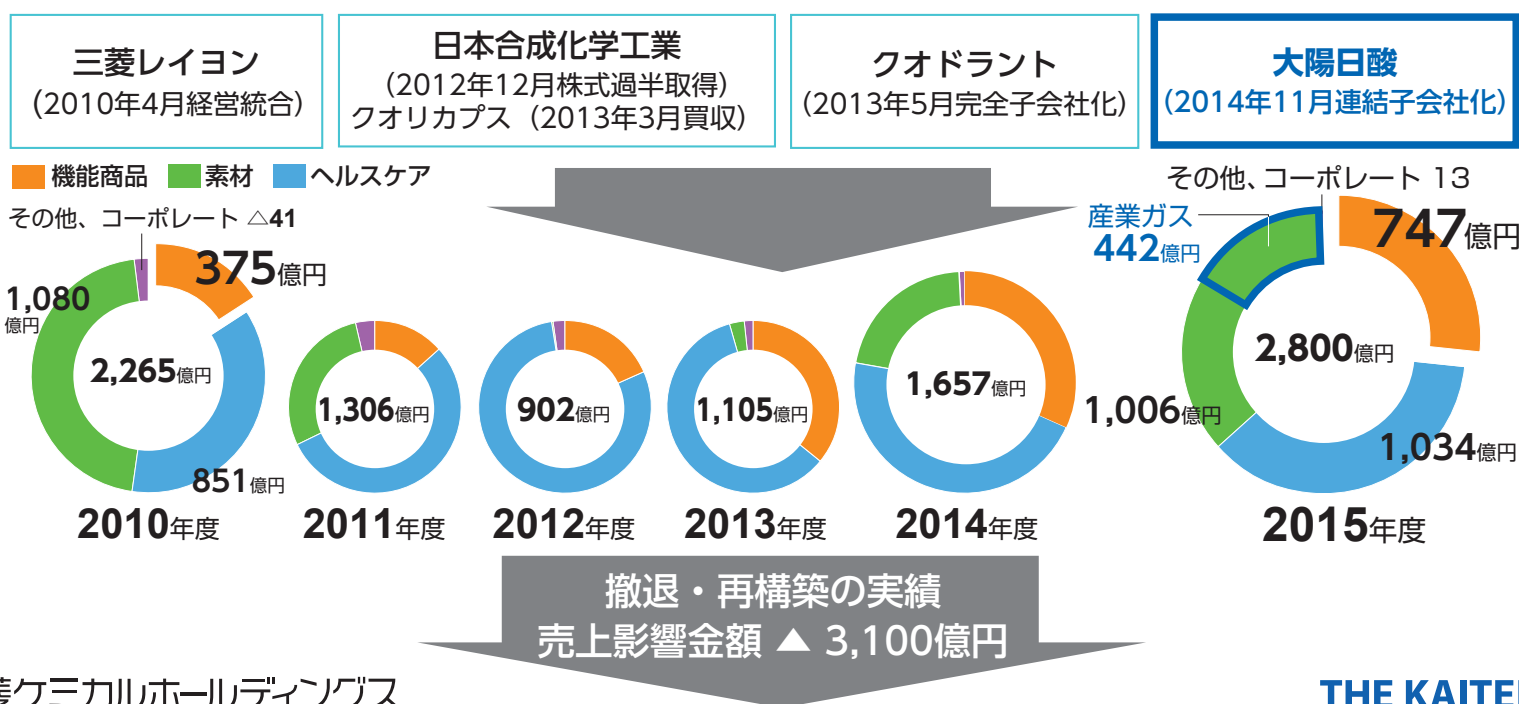
業績推移

2015年度の売上高・営業利益ともに過去最高を更新

	2010年度 実績	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 実績	2014年度 実績	2015年度 実績
売上高	3.2兆円	3.2兆円	3.1兆円	3.5兆円	3.6兆円	3.8兆円
営業利益	2,265億円	1,306億円	902億円	1,105億円	1,657億円	2,800億円
海外売上高比率	34%	40%	36%	40%	42%	43%

事業分野別営業利益推移

M&Aの実績：売上影響金額 + 1兆3,500億円



1-2 事業領域と業績

2016年度予想

- 2016年度第1四半期は、機能商品、ヘルスケアを中心に順調なスタートを切りました。
- テレフタル酸 (PTA) 事業の再編 (インド・中国事業の株式譲渡の決定)、日本合成化学社の公開買付けを決定し、構造改革も着実に進めています。

(億円)

分野		第1四半期実績	通期予想	進捗率
機能商品	売上収益	2,233	9,400	23.8%
	セグメント損益	202	650	31.1%
素材	売上収益	4,293	19,150	22.4%
	セグメント損益	245	915	26.8%
ヘルスケア	売上収益	1,349	5,350	25.2%
	セグメント損益	291	820	35.5%
その他	売上収益	419	2,100	20.0%
	セグメント損益	-13	-35	37.1%
合計	売上収益	8,294	36,000	23.0%
	セグメント損益	725	2,350	30.9%



2. 三菱ケミカルホールディングスのこれから

2-1 中期経営計画

2-2 当社の強み —No.1製品の紹介—

2-3 KAITEKI社会に貢献する製品・サービス

名称 ^{アプトシス} APT^{アプトシス}SIS 20
期間 2016～2020年度

機能商品、素材、ヘルスケア分野の事業を通じて、高成長・高収益型の企業グループをめざす

基本方針

高成長

- ▶ グループにおけるインテグレーション・協奏促進
- ▶ 海外事業の展開加速とマネジメント深化

高収益

- ▶ 収益性を意識したポートフォリオ・マネジメントの強化
- ▶ コスト削減等を通じた生産性の高い企業体質の実現

財務基盤強化

2-1 中期経営計画

2020 年度数値目標

事業戦略と財務戦略を両輪として、資本効率を向上させ ROE 10% 以上を達成する

財務指標 (MOE)

	IFRS ベース	日本基準 (参考)
コア営業利益	3,800 億円	3,400 億円 (営業利益)
ROS (コア営業利益)	8%	8% (ROS: 営業利益)
親会社株主帰属当期純利益	1,800 億円	1,500 億円
ROE	10%以上 (12%)	11%
Net D/E ratio	0.8	

* コア営業利益

IFRS の営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いた経常的な収益

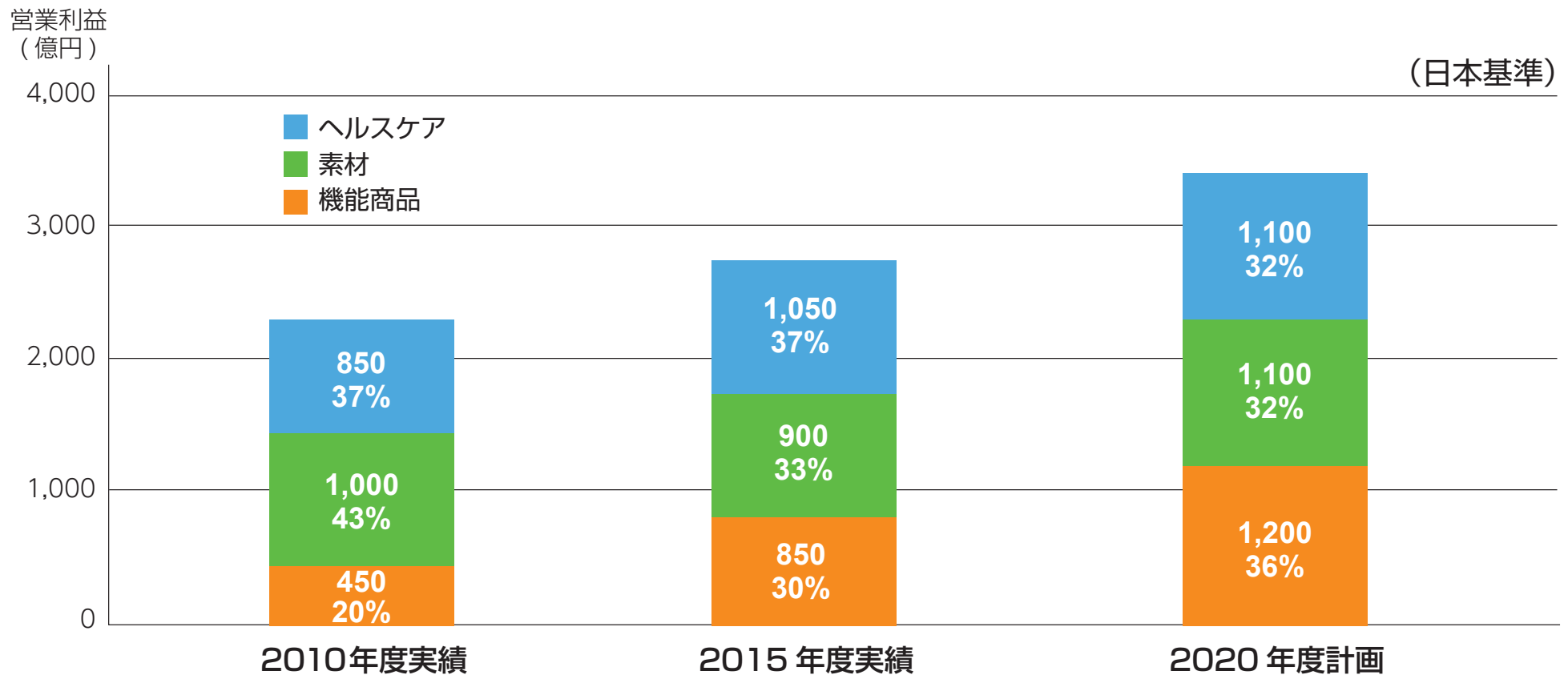
* IFRS のコア営業利益と日本基準の営業利益との差異

のれん償却費約 260 億円、連結範囲の相違 130 億円

2-1 中期経営計画

2020年度の収益構成

特に機能商品、ヘルスケア分野の発展と収益の拡大を図る



営業利益 **2,265 億円**
 売上高 **3.2 兆円**

営業利益 **2,800 億円**
 売上高 **3.8 兆円**

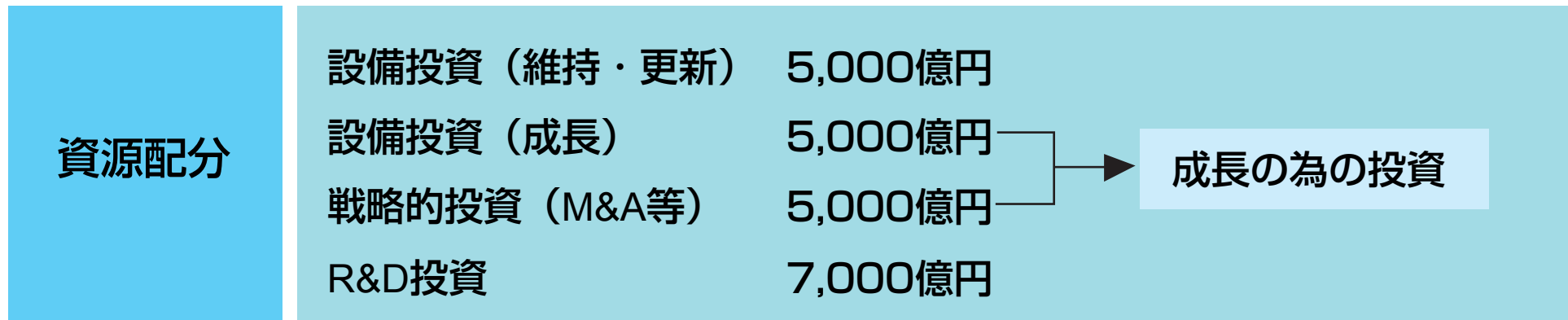
営業利益 **3,400 億円**
 売上高 **4.7 兆円**

※ 2020年度は、ポリマー事業の一部を素材から機能商品へ分類変更
 2010、2015年度は概算値に修正

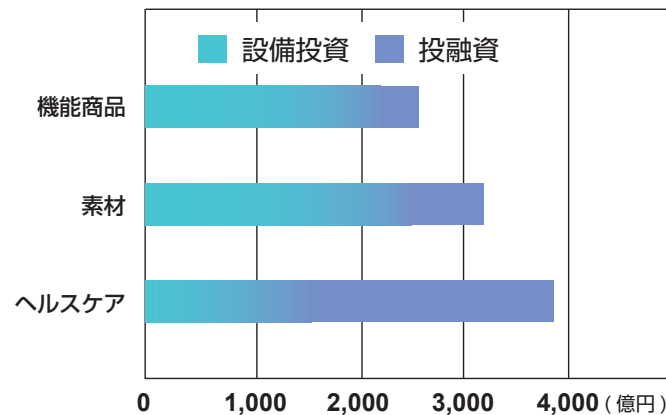
2-1 中期経営計画

資源配分方針

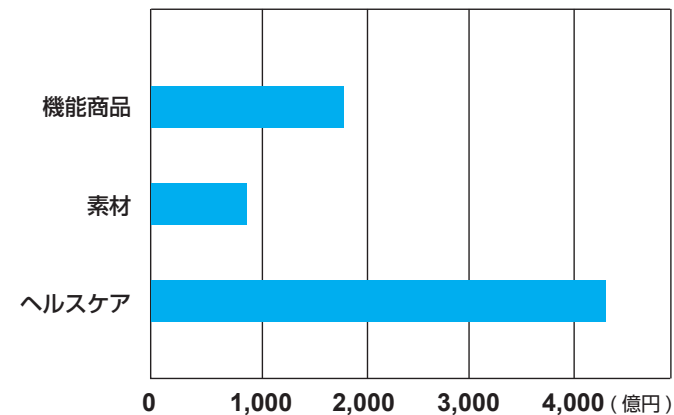
- 成長投資に1兆円、R&D投資に7,000億円を投入
- 機能商品、ヘルスケア分野に資源を重点配分



成長の為の投資：1兆円



R&D投資：7,000億円



2-1 中期経営計画

主要施策：統合新社の概要

- シナジー効果を最大限発現させて成長促進と収益拡大実現のため、3社統合後 10の事業ユニットに再編成
- 技術基盤、販売チャンネル、共通部門の効率化を促進
- 統合効果：シナジー 150億円、合理化50億円

三菱ケミカルホールディングス

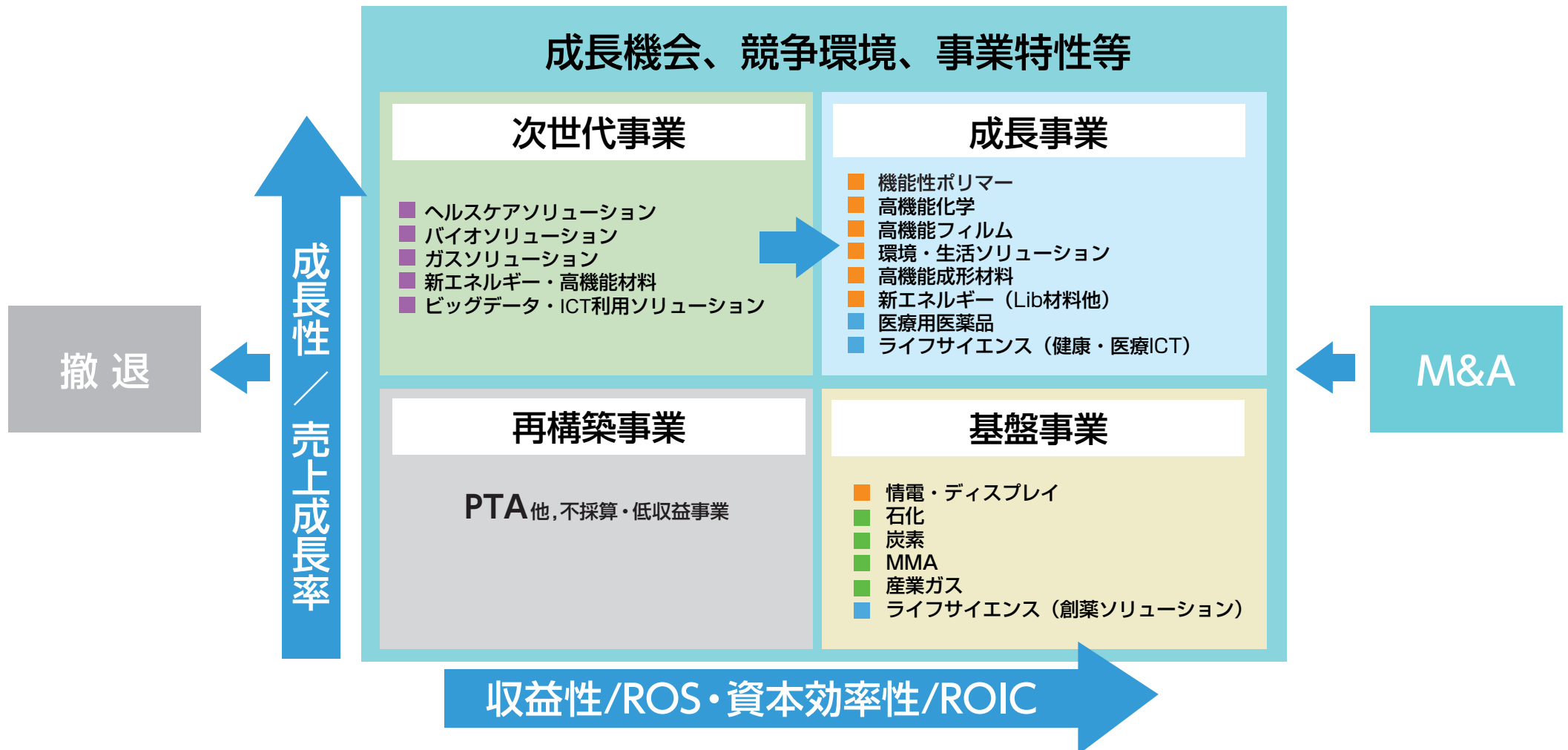


2-1 中期経営計画

主要施策：ポートフォリオ・マネジメント

- 高成長・高収益型の事業体の形成をめざして、ポートフォリオ・マネジメントを徹底

■ 機能商品分野 ■ 素材分野 ■ ヘルスケア分野 ■ 次世代事業テーマ



2-2 当社の強み —No.1製品の紹介—

● 性能・品質 **No.1**

高機能フィルム

- 独自の原料技術、長年培った製膜技術、多様な高機能化技術を最適に組み合わせ、各市場で高いシェアを誇る高付加価値製品を多数展開しています。

● 世界シェア **No.1**

アクリル樹脂原料

- 圧倒的なコスト競争力のある技術を強みに、世界にアクリル樹脂原料を供給し、トップシェアメーカーとして、グローバルオペレーションを実施し、積極的に事業展開しています。

● 国内シェア **No.1**

関節リウマチ等治療薬

多発性硬化症治療薬

- 難病に苦しむ多くの患者さんに貢献し続ける薬剤として、医療現場で活躍しています。

2-2 当社の強み：性能・品質 No.1

CASE1：高性能フィルム

- グループ内の独自技術を融合させ、高性能化を実現
フラットパネルディスプレイ (FPD) 関連は、市場増大を確実に取り込み拡大を狙う

売上規模

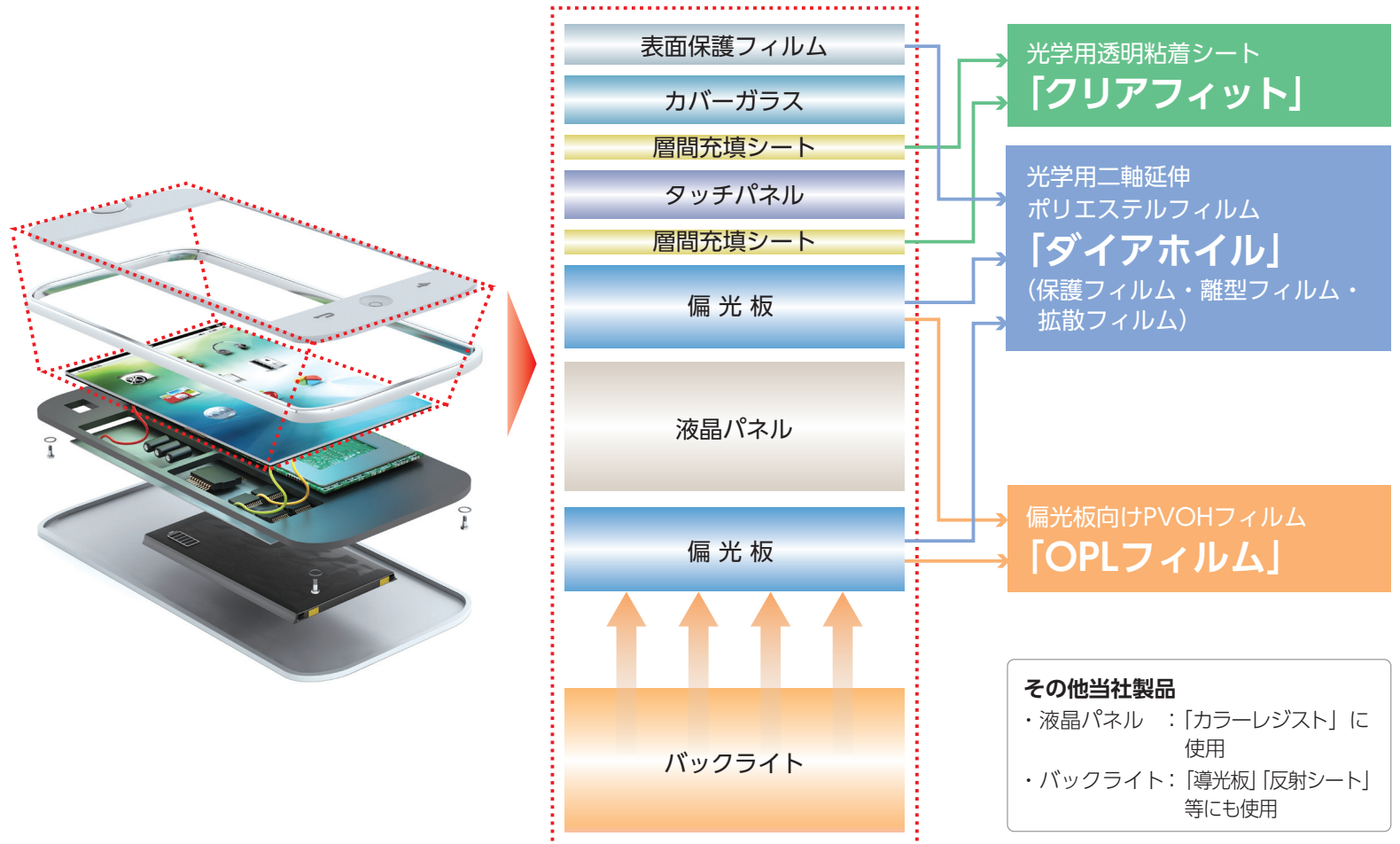
約**3,000**億円



PETフィルム
光学用フィルム
〔「OPLフィルム」
含む日本合成化学社〕
食品包装用フィルム
電子産業フィルム
他



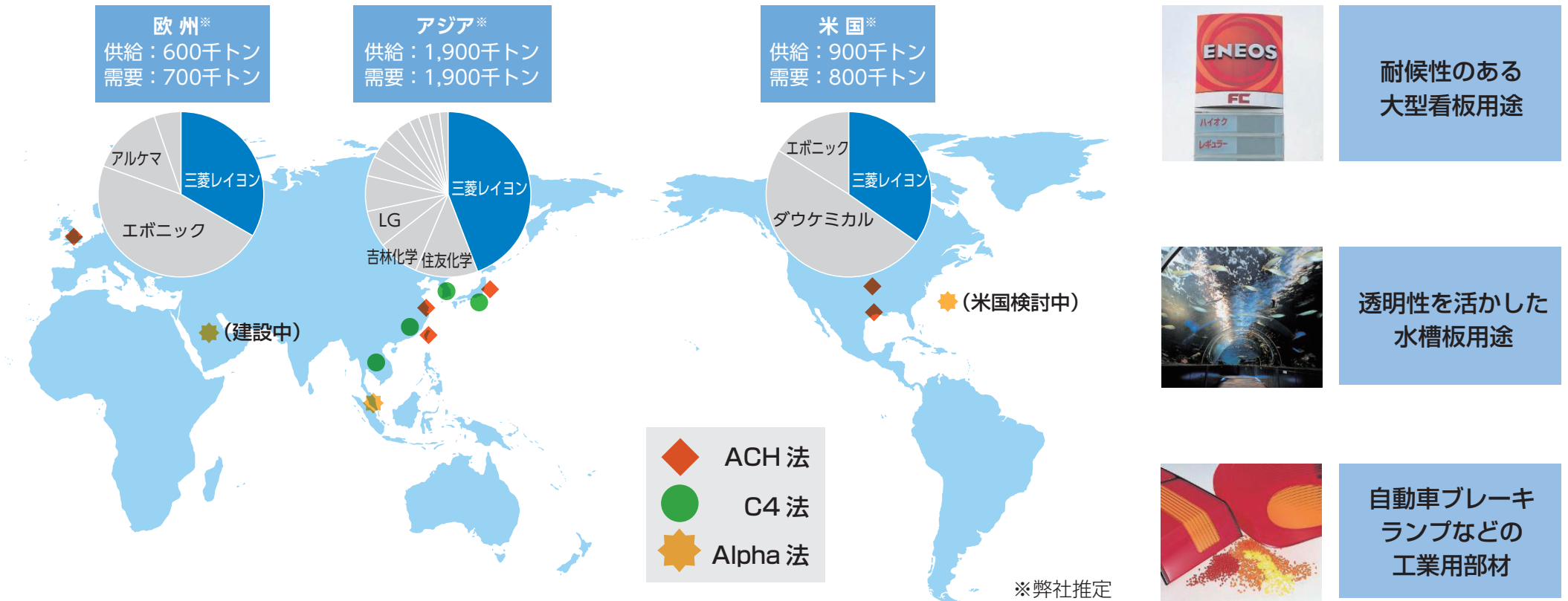
スマートフォンの構成例



2-2 当社の強み：世界シェア No.1 CASE2:素材分野(アクリル樹脂原料)

- 圧倒的なコスト競争力のある技術を強みに、世界にアクリル樹脂原料を供給

3つの製法による生産拠点の世界展開

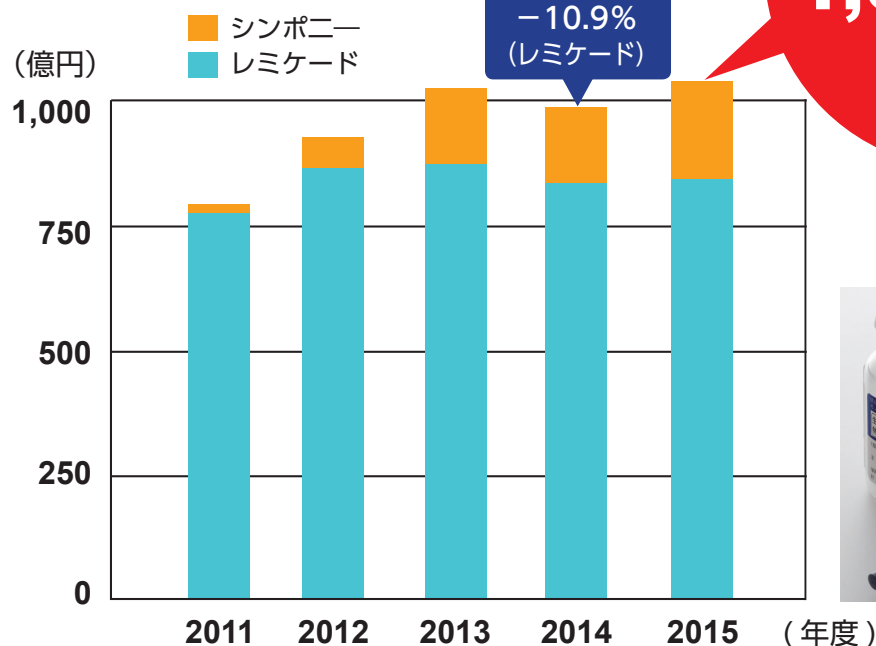


トップシェアメーカー（世界生産能力シェア：約40%、売上高：約3,000億円）としての
グローバルオペレーションを実施し積極展開

2-2 当社の強み: 国内シェアNo.1 CASE3:ヘルスケア分野(医療用医薬品)

- 関節リウマチを含めた全疾患で累計9万人以上の患者さんにお使いいただき、QOL(生活の質)向上に貢献している「レミケード」
- 投与経路の異なる皮下注製剤と合わせて、自己免疫疾患領域でNo.1を堅持していく
- 世界初の経口多発性硬化症治療剤「イムセラ」を自社創製。国内のみならず、導出先の海外大手製薬メーカー(海外製品名:ジレニア)が欧米など80カ国以上で承認を取得し、投与患者数は約15万人

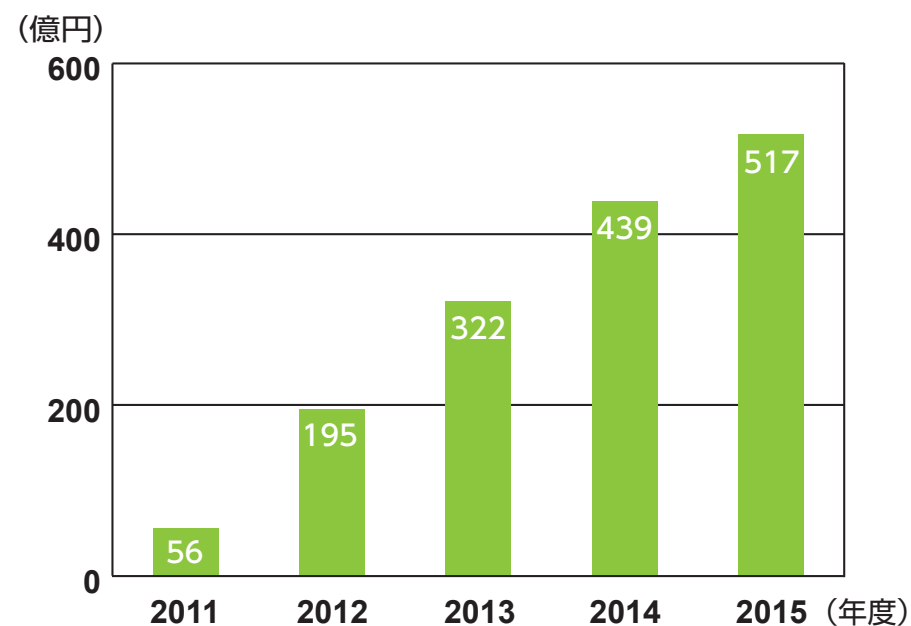
関節リウマチ等治療薬
レミケード・シンポニー実消化
(薬価ベース)



2015年度2度目の
1,000億円突破



多発性硬化症治療薬
「ジレニア」のロイヤリティ収入



2-3 KAITEKI 社会に貢献する製品・サービス

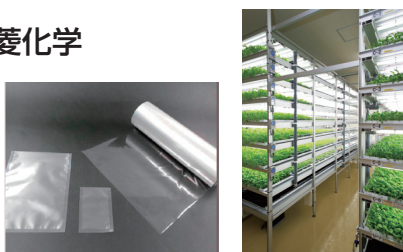
持続可能な社会の実現に向けた製品・サービスを開発し、提供していきます

食

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

食料・農業問題への対応

- 三菱樹脂／三菱化学
植物工場
- 三菱樹脂
食品包装材



水

すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

清浄な水資源の確保

- 三菱レイヨン
地下水膜ろ過システム
- 三菱レイヨン
排水処理用
中空糸膜



健康

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

健康維持への貢献

- 生命科学インスティテュート
健康診断サービス
健康セルフチェックサービス



- Clio
Muse細胞
- 大陽日酸
酸素安定同位体：PET（ポジトロン断層撮影）の
がん診断薬原料



気候変動

気候変動とその影響に立ち向かうため、軽量化によるCO2削減を推進する

気候変動への対応

- 三菱レイヨン
炭素繊維・
複合材料

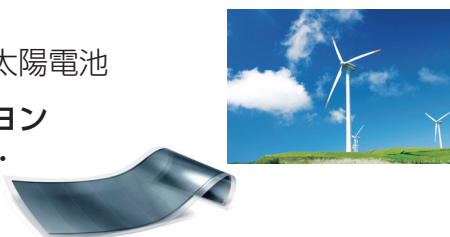


エネルギー

すべてに人々に手ごろで信頼でき、持続的かつ近代エネルギーへのアクセスを確保する

資源・エネルギーの効率的利用

- 三菱化学
有機薄膜太陽電池
- 三菱レイヨン
炭素繊維・
複合材料



2-3 KAITEKI 社会に貢献する製品・サービス

CASE1：炭素繊維

気候
変動

エネルギー

●鉄より強く、アルミより軽い炭素繊維 CO2削減や省エネルギーに貢献

炭素繊維 のここが KAITEKI

- ✓ 軽くて強い
- ✓ 優れた耐食性
- ✓ 環境にやさしい



BMW i3 にプレカーサーを独占供給



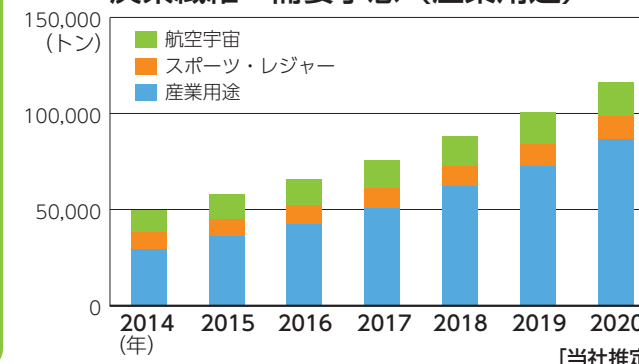
MRJ 機の動翼の部材に供給
三菱航空機（株）提供

APTSIS 20 (2016年度～2020年度) アクションプラン

- 欧州自動車市場で販売強化・製品開発
- 産業用途を中心に需要の飛躍的急増に対応した増設（10 → 18kt/y）計画
- 急成長が見込まれる環境対応の自動車分野でトップポジション獲得

以上の施策により、2020年に売上高1,000億円をめざす

炭素繊維 需要予想（産業用途）



2-3 KAITEKI 社会に貢献する製品・サービス CASE2 : 有機太陽電池 (OPV)

エネルギー

- 薄くて軽い“有機太陽電池”を実現
- グループの協奏で、創電の効率化に取り組む
- 世界最高の変換効率6%達成

有機薄膜太陽電池 のここが KAITEKI

- ✓ 軽量化と柔軟性を実現
- ✓ デザイン自由度が高い
- ✓ 製造による環境負荷が少ない



【仙台国際センター】実証実験実施中

APTSIS 20 (2016年度～2020年度) アクションプラン

シースルー OPV 製品のエネルギー変換効率、耐久性をさらに向上させ、スリーエムジャパン株式会社との緊密な協力関係の下、事業基盤を確立

2-3 KAITEKI 社会に貢献する製品・サービス

CASE3: サステナブルリソース

エネルギー

- 環境負荷の低いプラスチックの提供をめざし、化石原料から植物原料への転換を加速
- 抜群の透明性で環境にも優しい「デュラビオ」

「デュラビオ」のここが **KAITEKI**

☑ ガラスとプラスチック両方の
特長を兼ね備えたバイオプラ
スチック

☑ 環境負荷抑制に貢献

新規バイオエンジニアリング
プラスチック「デュラビオ」



内装樹脂カラーパネルに採用済ハスラー (スズキ株式会社提供)

APTSIS 20 (2016年度～2020年度) アクションプラン

光学特性・耐傷性等の機能を活かし、
高付加価値分野に注力

2-3 KAITEKI 社会に貢献する製品・サービス

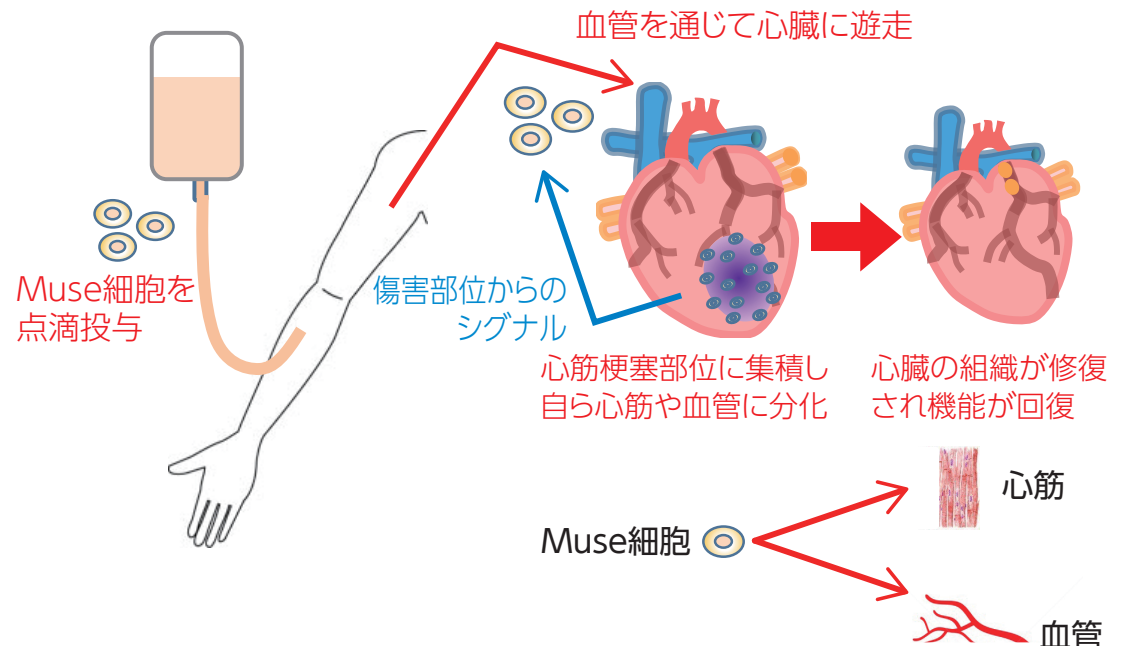
CASE4 : 再生医療

健康

- 次世代ヘルスケアビジネスとして、再生医療分野に進出
- Muse細胞の早期事業化をめざす

Muse (ミューズ)細胞 のここが KAITEKI

- ✓ 多様な分化能を持ち、様々な損傷部位を修復
- ✓ 生体内に存在する多能性幹細胞であり、腫瘍化懸念が低い
- ✓ iPS細胞 (人工多能性幹細胞) などと並び再生医療への応用に期待



APTSIS 20 (2016年度～2020年度) アクションプラン

Muse細胞を用いた再生医療製品の2019年早期承認申請をめざす



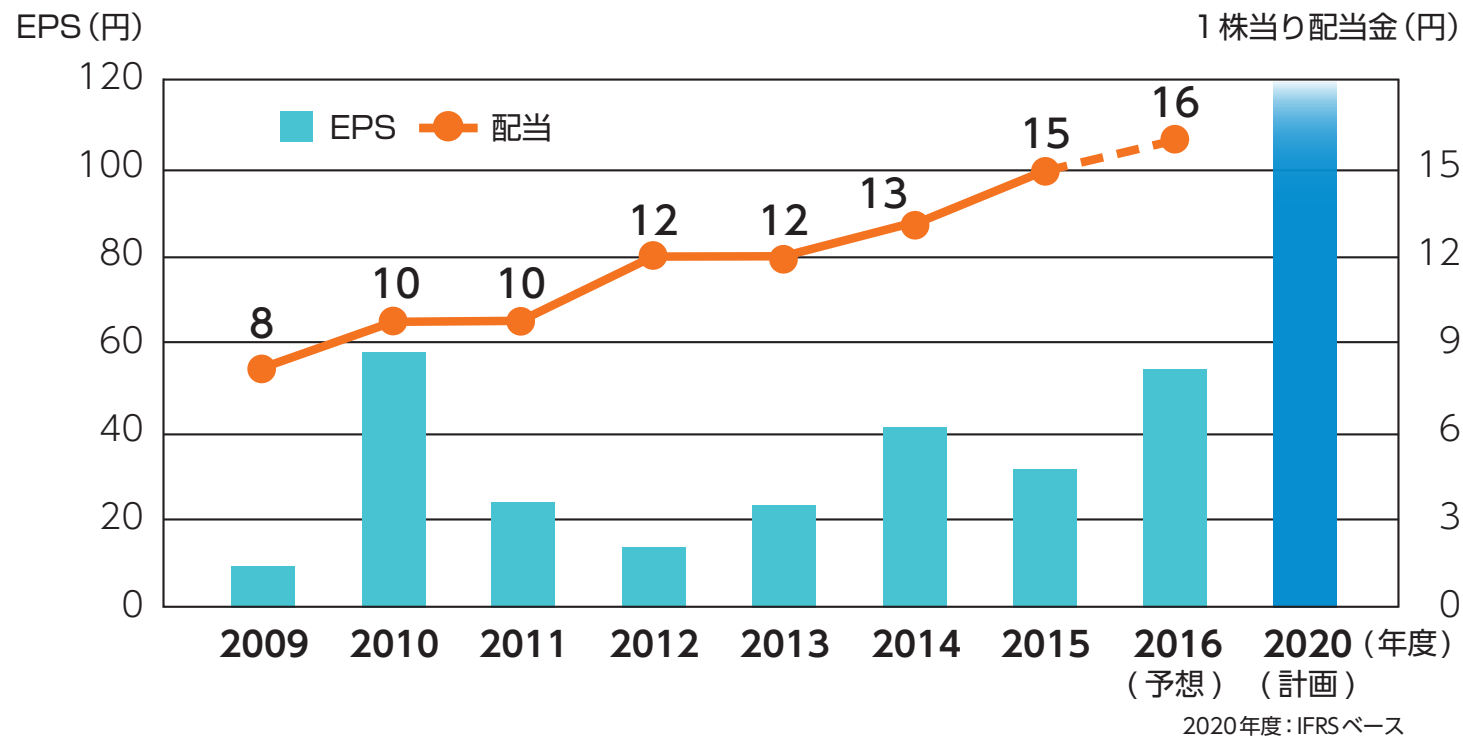
3. 当社の株式について

3 当社株式について

株主価値の向上

株主還元の基本方針

- 企業価値の向上を通じ、株主価値の向上をめざす
- 配当政策については、成長投資・財務体質の改善とのバランスを考慮
 - 中期的な連結配当性向の目安を30%とする
 - 安定的な配当を実施する



(ご参考)

3 当社株式について

株式情報

株式情報 (2016年3月31日現在)

● 上場証券取所	東証一部上場
● 証券コード	4188
● 一単元株式数	100株

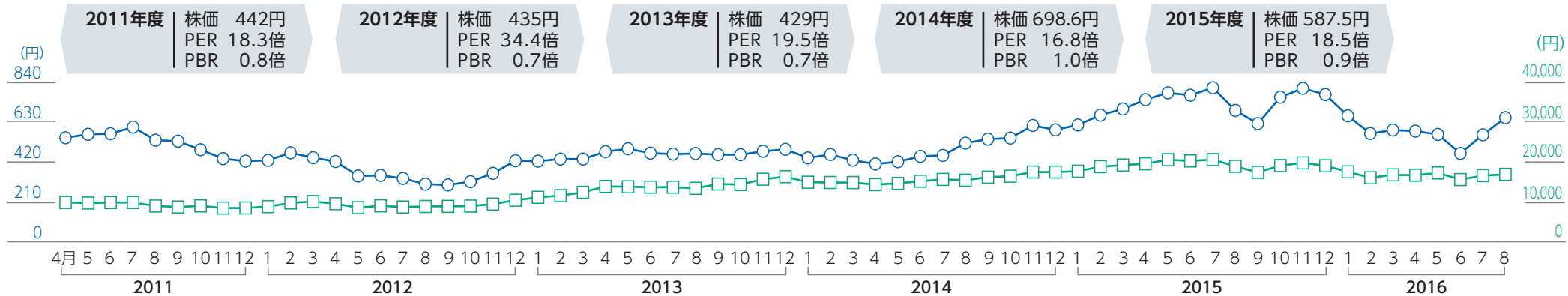
● 発行済株式数	1,506,288,107株
● 株主数	172,016名
● 株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社

株価/株式売買高

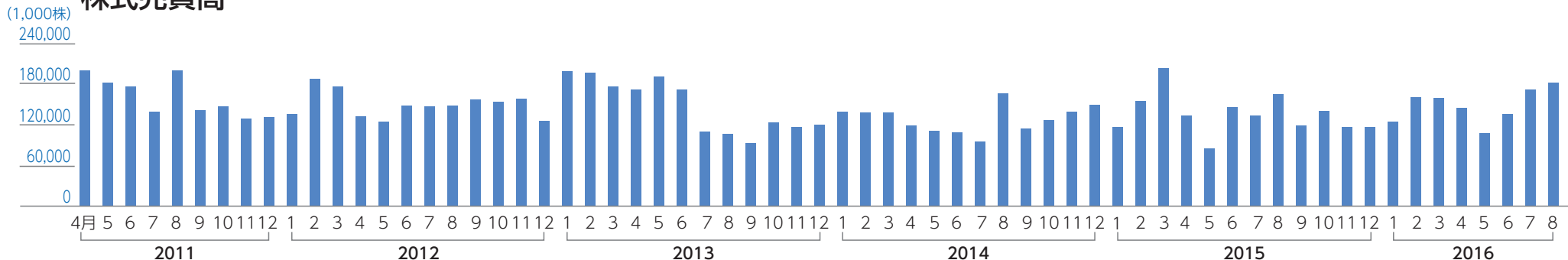
株価

○ 三菱ケミカルホールディングス株価(終値)

□ 日経平均株価(終値)



株式売買高



ご清聴ありがとうございました。

THE KAITEKI COMPANY

三菱ケミカルホールディングスグループ

本説明会および本資料における見通しは、現時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、業績予想と大きく異なる可能性があります。

当社グループは情報電子関連製品、樹脂加工品、医薬品、炭素・無機製品、産業ガス、石化製品等、非常に多岐に亘る事業を行っており、その業績は国内外の需要、為替、ナフサ・原油等の原燃料価格や調達数量、製品市況の動向、技術革新のスピード、薬価改定、製造物責任、訴訟、法規制等によって影響を受ける可能性があります。但し、業績に影響を及ぼす要素はこれらに限定されるものではありません。